

平成30年度成年後見市民講演会開催要綱

笑って深める成年後見 ～暮らしに役立つ成年後見制度とは？～

1. 目的 認知症や知的・精神障がいなどの理由から、十分な判断をすることができない方を支援する成年後見制度の必要性が高まっており、広く成年後見制度の啓発をすることで、制度の利用促進や他制度との連携などを図っていくことを目的として開催します。
2. 主催 名寄市社会福祉協議会 名寄市成年後見センター
3. 共催 名寄市
4. 日程 平成30年5月19日（土曜日）13：30～15：00（受付13：00～）
5. 内容 講演「笑って深める成年後見～暮らしに役立つ成年後見制度とは？～」
講師 落語家 林家 とんでん平 師匠

「成年後見制度」は私達の暮らしに役立てることができる、暮らしに直結した制度ですが、その反面、「聞いたことはあるけど、難しそうで内容があまり分からない」という声を多く聞きます。
そこで、「成年後見制度」を、落語をとおして面白く・分かりやすく学び、制度の理解を深め、これからの生活に活かしていきます。
6. 場所 名寄市総合福祉センター 1F多目的ホール
7. 参加対象 どなたでも参加いただけます。
8. 参加費 無料
9. 申し込み お電話、FAX、E-mailなどで5月11日（金）までにお申し込み下さい。
10. その他 手話及び要約筆記通訳がつきます。

◇講師紹介

林家 とんでん平 師匠

独創的なアイデアと抜群の行動力で注目される異色の落語家。

1979年故・林家三平に入門。師匠死去後に林家こん平門下に移る。手話落語も手がけ、リヤカーによる本州手話落語行脚をはじめ、三平師匠ゆずりのファンサービスで人気を呼ぶ。

2016年には、全国6000キロ落語行脚を行い、東日本大震災の被災地など102日間で82か所での落語を行う。

また、成年後見制度の理解啓発のための落語を創るなど、広く福祉の充実にも尽力されている。

■略歴

1952年 小樽市出身

1978年 師匠・初代林家三平の笑いの芸と迫力を目の当たりにし、感動して入門を決意。

1979年 小樽から東京までリヤカーを引き38日間1,000kmの入門の旅で上京。
師匠の門を叩く。

1980年 初代 林家三平最後の弟子になる。

1986年 東京～沖縄2,000km、日本縦断リヤカー落語行脚に出発。約4ヶ月後達成。

1990年 手話落語を手掛ける。

1992年 本州一周140日間4,000kmのリヤカー手話落語行脚を行い、94ヶ所を披露。

1994年 真打昇進。

1998年 国外では初の、手話落語と文化交流をデンマークの、ろう学校で行う。

2008年 日本テレビ「笑点」に手話落語で出演

2016年 全国6,000kmの落語行脚を行う。

[お問い合わせ・お申込先]

社会福祉法人 名寄市社会福祉協議会 地域支援係（担当：小笠原）
〒096-0011 名寄市西1条南12丁目 名寄市総合福祉センター内
TEL：01654-3-9862 / FAX：01654-3-9949
E-mail：chiiki@nayoro-shakyo.jp